



日本の「働く」を 進化させる。

学生と企業の架け橋、コーオペ教育



早期離職

打ち解けようとしな

良い人材が見つからない

言われたことしかしない 行動力・実行力がない

社員教育をする余裕がない

課題解決力がない

即戦力を求めすぎる

「採用活動」や「人材育成」にコストがかかりすぎる

意思疎通ができない

仕事内容が面白くなかった

未就職者

自分の適性がわからない

社風が合わなかった

仕事に対する責任がなく物足りなかった

昇進・キャリアに将来性がなかった

仕事上のストレスが大きかった

インターンシップに満足していますか？

実施している企業からは「インターンシップは、手間の割に求めるメリットが見出せない」といった声や、これから始めようとしている企業からは「どういうプログラムを組めばよいのかわからない」といった声がかけられるケースもみられます。

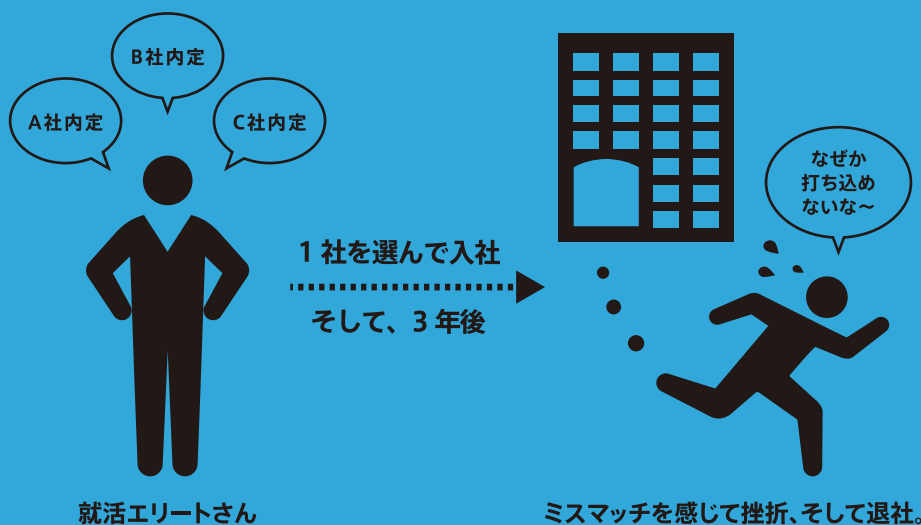
インターンシップといっても多種多様なものがあります。



理想のインターンシップのあり方とは？

キャリア教育で 学生は育っていますか？

現状、日本のキャリア教育は就職活動を成功させるためのテクニックとして狭くとらえられ、キャリアを考えるという本来の意味での教育や次世代を担う学生の育成につながっていないケースもみられます。

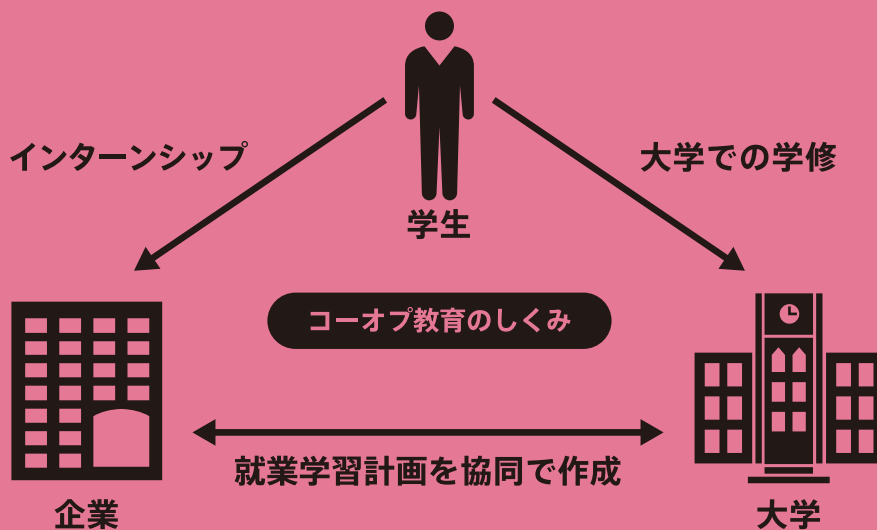


社会を生き抜く力をつけるキャリア教育とは？

解決の
手がかり

問題解決の糸口になるのが “**コーオペ教育**”です。

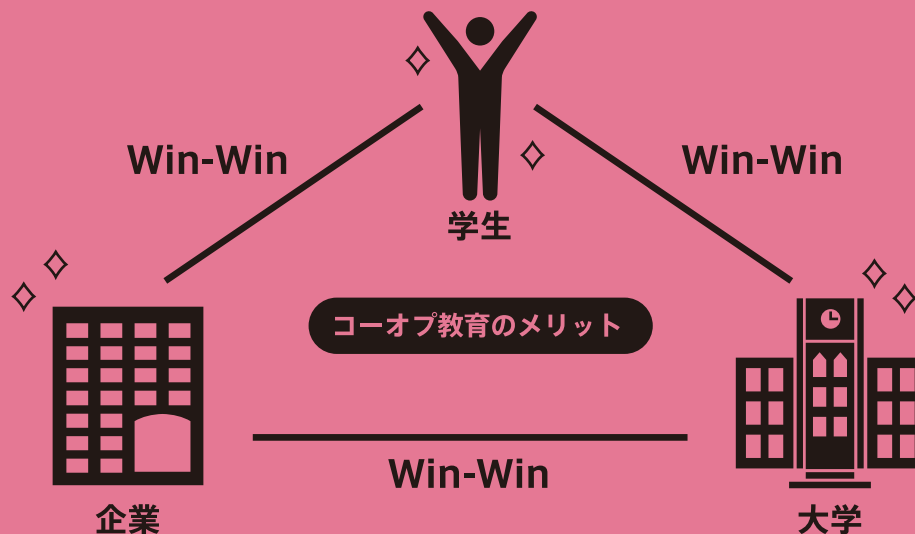
コーオペ教育とは、キャリア教育の手法の一つで長期や複数回のインターンシップを取り入れた教育プログラム。教育機関と企業が協同でプログラム内容や指導方法を開発・実施するのが特徴です。



コーオペ教育は企業・大学が連携して取り組む人材育成です。

企業・学生・大学にとって コーオペ教育のメリットは？

企業・学生・大学、それぞれにメリットがあります。企業には、企業・業界・業務内容の発信、新しいアイデアの獲得、社員トレーニングの一環など。学生には、主体性、社会人基礎力の獲得、キャリア観の明確化など。大学には、企業・地域との関係強化、学修の深化などがあります。

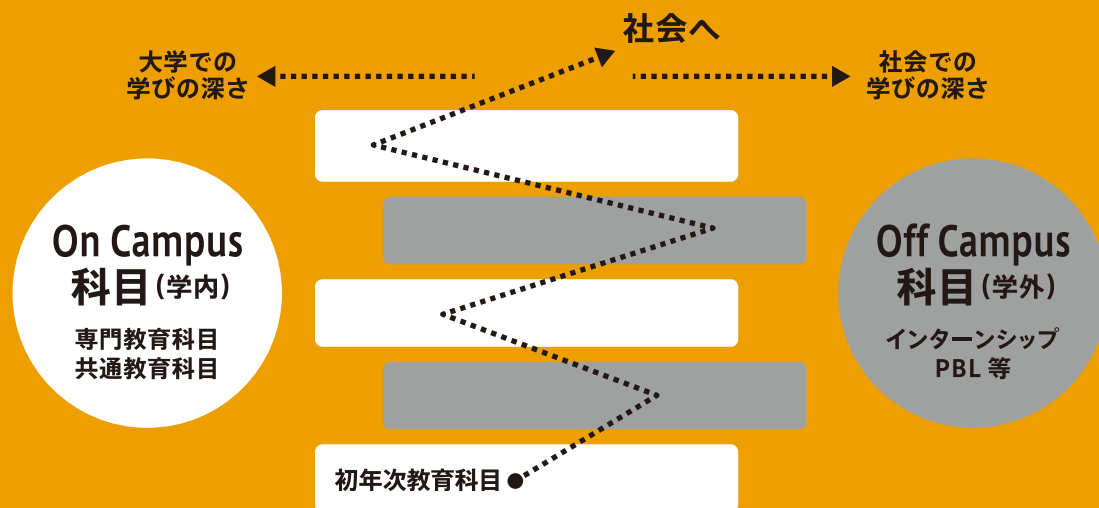


次世代の日本を担う人材の育成につながります。

例えば、
京都産業大学では

京都産業大学のコーオプ教育は、 「サンドイッチ型」に進化しています。

京都産業大学では企業と連携し、学内の学びと学外の学びをサンドイッチのように積み重ねていく独自のコーオプ教育プログラムを展開しています。学生は企業の現場で求められる能力を知り、学問の重要性を再確認し、広く深く独自のキャリア観を育んでいきます。

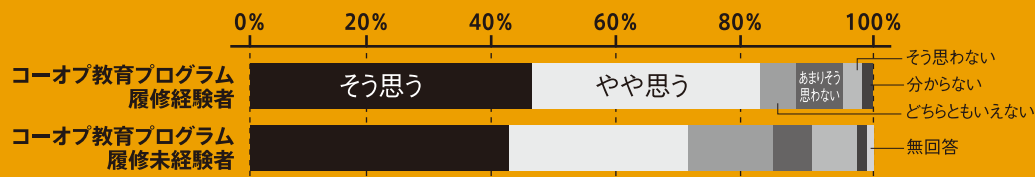


ON(学内での学修)と OFF(企業での就業経験など)を繰り返し、学びを深めます。

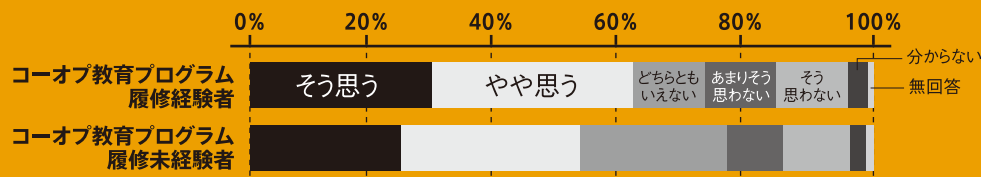
コーオペ教育の成果を 卒業生の意識調査で確認。

コーオペ教育プログラムの履修生は、学生生活の満足度が高く、
納得のできる就職活動ができているという傾向があります。さら
に、仕事への満足度も高く、明確なキャリアプランを持っている
ことがわかりました。

Q1・自分は満足できる大学生活を送ることができた



Q2・現在の仕事には総合的に見て満足している



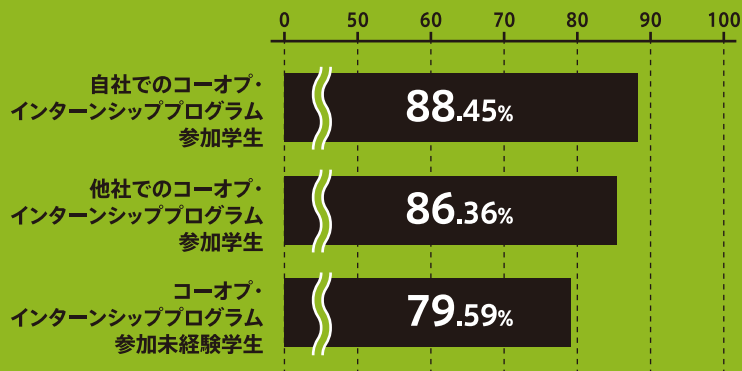
コーオペ教育は「働く」を進化させます。

今、世界でも

コーオペ教育は 世界各国で成果を上げています。

コーオペ教育は、1905年、アメリカではじめられ、カナダ、オーストラリア、イギリス、スウェーデン、タイ、南アフリカ、ニュージーランドなどに普及。それぞれの国の事情にあったコーオペ教育が開発、導入され成果をあげています。

入社1年後の平均在籍率（アメリカ）



※ここでのインターンシップは、日本と違い大学での学びと連動したものです。

出典：米国NACE (National Association of Colleges and Employers)、2013年調査。

各国からコーオペ教育の成果が報告されています。

「WACE 世界大会」 世界の事情を知り考える機会。

WACE(ウェイス:世界産学連携教育協会)とは、

WACEは世界52ヶ国、約1,000の教育機関、企業、団体からなる組織で、産学連携教育に携わる個人・学校・企業・政府・自治体などを支援し、その発展、拡大、ブランディングを行う国際機関です。

本部：アメリカ合衆国マサチューセッツ州ローウェル(マサチューセッツ大学内)1983年設立

「WACE世界大会」とは、

「WACE世界大会」は、各国から産学連携教育の専門家や実務家が集う、WACEが主催する最大規模の国際会議で、国内外の参加者と直接コンタクトをとるまたとない機会です。

研究・事例発表や情報・ノウハウ交換、人脈形成を目的として、2年に1度開催されます。

日本型「コーオプ教育」を共に考えていきましょう。

WACE

検索

※「第19回 世界大会」は2015年に京都産業大学で開催

